

ふるさと教育 取組事例

学校名	美郷町村立大和小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	「大和のすてきを見つけようパート2～グリーンロード大和のすてきを見つけよう～」	地域の方・公民館・地域の特産品
	ねらい	道の駅「グリーンロード大和」の良さや特色について調べることを通して、道の駅を支える人々の取組や思いに気づき、地域への愛着を深め、道の駅のよさを多くの人に伝えようとするができるようにする。	
<p>1 取組の概要 春、夏、秋を通して「大和のすてきを見つけよう」を学級全体のめあてとして学習を行う。パート2では「グリーンロード大和」を取り上げ、見学や生産者などの地域の方たちと関わりながら学ぶ。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・大和の自然や大和のまちを支えるひとと直接、または間接的に関わる中で地域の方々の思いや願いに気付いたり地域への愛着を深めたりすることができるよう、単元構想を工夫した。</p> <p>(学力育成の視点から) ・地域にある道の駅を題材として取り上げ「お金」「商品」「売るひと」「買うひと」「つくるひと」などの多様なもの・他者と関わりながら、金銭や物に対する健全な価値観を身につけ、自ら学びよりよく生きようとする態度を育てるという金銭教育の目的の達成を目指した。 ・「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の過程では、各教科で学んだことをいかしながら学ぶことで、各教科・領域の有用性を実感できるようにした。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・「…1年中がんばって作っておられますから、『600円は高いな』と思ったら買ってみてください。」と、値段に隠れている生産者の方の思いを知り、それをもっとたくさんの人に知ってほしいという願いをもつ姿が見られた。</p> <p>(学力育成の視点から) ・「なぜ、シイタケが600円なのか聞いてみたい。」と、意欲的に質問する姿から、主体的に問題解決しようとする姿や地域の方へ親しみや感謝の気持ちをもつ姿が見られた。 ・「…お正月も休まず温度・湿度などを考えているそうです。」と、休まず働く農園の方の苦労に気付く姿が見られた。 ・「…工夫しているところや大変だなと思うところもがんばって作っておられるから高いけどぜひ買って食べてください。」と、シイタケがなぜ人気があるかを考え、生産者の苦労や工夫、努力に気付く姿が見られた。</p>			
			



このしいたけはえいよもあっておい
 しまねにんしょう(ゴルド)も入っています。
 お正月も休まずおんじょしつなどを考えて
 作っているそうです。
 新田のうえんさんの休校かんはっておられることか
 分かりましたね。

にったのうえんさんのしいたけは高い
 けど、くわしているところやしいたけ
 だなと思っ^ててるもかんはって作っ
 ておられるから高いけど、ぜひ買^{って}て食^べ
 てくださる。

だけど、にったのうえんさんのしいた
 けは、とっても体にいいせいぶん
 も入ってるし、まのうやくのこともと
 もとたくさんいいせいぶんが入っ
 ています。年まつおんじょも休まず、やっている
 それで、一年中かんはって作っ
 ておられますから、600円高いなあ
 と思ったらかんはってるな、ってかっ
 けてみて下さい。

4 課題や今後の展望

- 課題の設定の場面から、一人一人が課題を見出せるような学習材との出会わせ方を工夫し、学習の個性化、個別化を意識した授業構想となるよう工夫する。
- 直接体験を大切にすることができるよう、活動を計画的に行う。
- 3年生は、総合的な学習の時間の学び方の素地を養う学年と意識し、1学期は学び方を学ぶような活動を位置づけ、2学期以降に本格的な学習へと発展するような年間計画を立てる。
- 4年間と卒業してからの3年間を大和で学ぶと仮定し、「目指す子どもの姿」で系統性を大事にしたふるさと学習の計画を立てたい。